

きらの子読書だより

原東小 図書通信

R元. 11. 20

家庭読書（親子ふれあい読書）の御協力ありがとうございました。

今回もたくさんの感想をいただきました。今年度2回目の家庭読書の日でしたが、工夫して取り組んでいただき、ありがとうございました。子どもたちは、図書室で親子読書用に本を探したり、どんな本を読もうかなと話をしたりしていました。親子で読書をして過ごす時間がもてたことは、子どもたちにとって、楽しく大切な時間になったと思います。

《読んだ本と保護者の方の感想を紹介します》



1年生

- ・この本は小さい頃から、大好きなお気に入りの本です。消防車が大好きで、この本を読んであげると目が輝きます。夜寝る前に、読み聞かせができるときはしていますが、もっといろいろな本を読んで、本が大切な存在になってくれればと思います。
(しょうぼうじどうしゃじふた)
- ・忙しい日々の中で、娘にゆっくり本を読んであげられる機会をつくれて、私自身初心に戻れました。この本を通じて、長女との関わりを大切にしていきたいと改めて感じました。
(おねえちゃんって、もうたいへん)
- ・感情を込めて読む姿に成長を感じました。とてもおもしろい話で、2人で笑い、楽しい時間でした。
(いいからいいから)



2年生

- ・いろんなかわいいねこ達が出てきて、読んでるときも笑顔になり、癒やされるなと思いました。
(ねことさがしえのほん)
- ・優しくしてくれたおじいさんに、感謝の気持ちを込めて手を合わせて来たキツネの話でした。おじいさんのように優しい心を持ち、キツネのように感謝できる心を持ってもらいたいと思いました。
(おつやにきたきつね)
- ・言葉に興味が出てきて、質問をするようになりました。また機会を作って取り組みたいです。
(ハヤトいっしょに走ろう)

3年生

- ・運動会がテーマの物語なので、主人公に共感する部分はたくさんあり、感情移入して聞いていました。
(みてろよ！父ちゃん！！)
- ・小さい頃から好きだった『100階建ての家シリーズ』を久しぶりに一緒に読んでみました。主人公の気持ちを考えたり、自分が本の世界に入ったらどうなるか想像したりし、様々な視点から見るできるようになったんだなと感心しました。
(そらの100かいだてのいえ)
- ・これからの季節にぴったりの懐かしい絵本を選んでできました。箱を開けることで、サンタさんの行動をみることができるのは、子どもだけでなく、大人もドキドキ、ワクワクで

きて、楽しさをかき立ててくれます。

(クリスマスのふしぎなほこ)

- ・ 2年生の運動会のときに、リメンバー・ミーの歌で踊ってから、物語自体にもとても興味を持ち、本を購入し何回も読んでいます。心がとても温まるお話だと思います。優しい心が成長してほしいと願っています。(リメンバー・ミー)

4年生

- ・ 負の気持ちを持ってしまったとき、そのことを『どう捉えるか』が楽しい発想で描かれていて、親子共々今後の生活に生かせるといいなと思いました。

(ころべばいいのに)

- ・ 戦争中の生活(日常)がどのようなものか伝わる本だと思います。今の時代、戦争の恐さ、大変さの真実を知りません。この本を通して、親子で昔の人のすごさについて話できました。

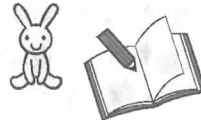
(このせかいのかたすみ)

- ・ 健常者よりもたくさんの経験をして、多くのことを学び努力した結果だと感じました。私たちこそ、五感を全てもっているの、本当はヘレンケラー以上にやれることがあるはず。良い本を読みました。

(ヘレンケラー)

- ・ この本を家庭読書で読むのは4回目になります。子どもの感想は少しずつ変化していますが、大切なものは何かは伝わっているように思います。毎年この本を読んで、わかり合いたいです。

(ともだち)



5年生

- ・ 夢見ることは、とても大切なことだと感じました。目標があれば人生も楽しめると思います。是非、夢を現実にしてほしいと思い、今後も親として応援し、支えてあげたいと思います。

(おかしのくにのパレリーナ)

- ・ クレヨンの気持ちが手紙という形で表現されていて面白かったです。物を大切に使うとくれるとうれしいです。

(クレヨンからのおねがい！)

- ・ 五感がどれだけ大切なことか、一つでも欠けると失うことが多くなることに気付かされる本です。自分でどう工夫して生きたらよいのか、努力することがどれだけ大切なのかを汲み取って、これからもいろいろなことに努力してくれるとよいなと思いました。

(耳の聞こえないメジャーリーガーウィリアム・ホイ)

- ・ 何度読んでも最後は胸がいっぱいになり感動です。それを子どもと共有できることがうれしかったです。

(えんとつ町のプペル)

6年生

- ・ 楽しいこと、好きなことをするだけが友達ではないこと、『本当の友達とは何なのか』この本を通して、学んでほしいです。

(キラキラッとほしがかがやきました)

- ・ この本は、小学6年生の子の話で、別の学校の2人が偶然出会って仲良くなっていく様子が描かれています。これから中学・高校に進んだときに、こういう友人関係が築けるといいなと思います。

(キミに会えてよかった)

- ・ 前回のきらの子読書の感想に『おかあさんはね』があり、すてきな本だと思い読んでみました。わたしはとても共感して泣きそうでしたが、子どもは言葉通りに捉えていたので、もっと想像をふくらませていってほしいと思いました。

(おかあさんはね)

- ・ 不自由な人の役に立つこと、この本を通じて、どこかで困っている人を見つけたら、助けてあげられる人になってほしいと思いました。

(ラブの贈りもの)